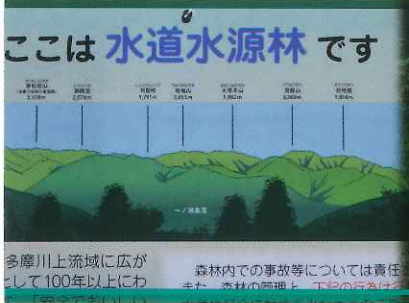




緑の募金

森林とひと ともに生きる

育み、守り、再生する



「これまで」、「いま」、そして「これから」。
 時を超えて受け継がれる、森林と人との絆を紹介します。

国土のおよそ7割を森林が占める「森林大国」日本。
 私たちは今、豊かな緑に囲まれて過ごしています。
 それは大自然の力と人間の知恵と営みが結びつき、共生してきた証です。
 今当たり前のように目にする森や林、山々にも、歴史があります。

放送 2013年11月4日(月・祝) 17:00~17:30
決定! 【再放送】2013年11月27日(水) 19:30~20:00



提供 公益社団法人
国土緑化推進機構

協力 **47 都道府県緑化推進員会**



これまで・・・・・・・・

毎日新聞社 特別編集委員であり、NPO法人 森びとプロジェクト委員会の理事長を務める岸井成格氏が語る「日本人にとっての森林とは・・・」また「緑化活動とは・・・」。

日本の国土緑化活動の歴史や森びとプロジェクト委員会が活動する足尾銅山の緑化活動を通して、「森林とひと」の歴史と関係を解説頂きます。



いま・・・・・・・・

あらゆる生き物にとって不可欠な水。

その水の「ふるさと」といわれている森林。

1,285万人の都民に水道水を供給している東京都の水道水源林を訪ね、森林がもつ「水源かん養機能」と、その森林のチカラを最大限に発揮させるために100年以上の歳月をかけて整備・保全する活動を紹介します。



これから・・・・・・・・

東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた宮城県・仙台湾沿岸の防潮林。それは、400年以上前、初代・仙台藩主「伊達政宗」がつくることを命じた「塩除須賀松林」でした。

将来に向けた防災の備えのため、また地元の人々が愛した原風景を取り戻すために「平成の塩除須賀松林」をつくり始めた活動を紹介します。



「緑の募金」は、地球温暖化防止をはじめ、国内外の森づくりや森林ボランティアなどの人づくり、東日本大震災の被災地域の海岸防災林の再生や住居地域の緑化活動などに、大切に活用されています。

「緑の募金」にご協力をお願いします！